

# 中心市街地活性化 好取組事例

人口規模別分類(20万人以上)

市町村名	旭川市(北海道)【平成23年3月25日認定】		人口(平成27年国勢調査)	339,605人	
計画期間	平成23年3月 ~ 平成29年3月				
目標指標	観光情報センター利用客数				
基準値	50,922人 (平成20年)	目標値	60,000人 (平成28年)	実績値	81,291人 (平成28年)
取組概要	<p>○旭川空港の国際線利用者数が平成25年度に約10万人、平成26年度は約16万人、そして平成27年度は約19万人と急増したほか、中心部では、新たなホテルのオープンやホテルの年間稼働率が上昇するなど(平成27年度は約79%)、本市中心部の基盤整備や観光振興等に係る圏域・道北全体と連携したインバウンドの取り込みが一つの鍵となった。</p> <p>○総合観光情報センターを旭川駅に観光案内・バス待合・飲食などの機能をもった施設として移設したことで、利用者数は、平成20年度の50,922人に対し、平成28年度では、81,291人(うち外国人観光客30,000人超)に急増した。</p> <p>○更に、これらの好機を生かすように総合観光情報センターの運営や、旭川の魅力を存分に体感できる冬期の観光コンテンツを充実させるとともに、北彩都ガーデンなどの観光資源や中心市街地でのイベントなどとの連携により、来街者が増加し、目標を達成した。</p> <p>○今後は、中心部に生まれつつある人の流れを定着させるとともに、日常的に回遊、滞留する仕掛けづくりが重要となる。</p>				
					
	<p>&lt;駅前スケートリンクゆつきリンクASAHIKAWA&gt;</p>		<p>&lt;北の恵み 食べマルシェ開催事業&gt;</p>		

市町村名	八戸市(青森県)【平成25年3月29日認定】		人口(平成27年国勢調査)		231,257人
計画期間	平成25年4月 ~ 平成30年3月				
目標指標	空き店舗・空き地率				
基準値	19.2% (平成23年)	目標値	13.0% (平成29年)	実績値	10.3% (平成29年)
取組概要	<p>○特定民間中心市街地経済活力向上事業を活用し、民間事業者により老朽化した2つの空きビルを解体し、平成28年7月に商業・オフィスを有する複合ビルを整備したことにより、空き店舗の解消に繋がったとともに、オフィス機能の入居や八戸市直営の書店「八戸ブックセンター」の開業(平成28年12月)など、中心市街地の空き店舗・空き地率の低下につながった。</p> <p>○八戸市が八戸商工会議所へ委託して行うはちのへ創業・事業承継サポートセンター事業などの実施により、起業や新規出店をしようとする事業者を支援するとともに、空き店舗の改装経費等の一部補助を行い、5年間で16件の新規出店があるなど、空き店舗・空き地の解消に寄与した。</p> <p>○目標は達成したものの、未だ空き店舗・空き地は存在することから、今後も中心商店街空き店舗・空き床解消事業等の支援の充実を図るとともに、商業機能誘致事業などにより、より魅力ある商店街づくりに取り組んでいく。</p>				
					
	<p>&lt;民間事業者により整備された複合ビル&gt;</p>		<p>&lt;はちのへ創業・事業承継サポートセンター&gt;</p>		

市町村名	秋田市(秋田県)【平成20年7月9日認定】		人口(平成27年国勢調査)		315,374人
計画期間	平成20年7月 ~ 平成26年6月				
目標指標	空き店舗数				
基準値	25店 (平成19年)	目標値	7店 (平成25年)	実績値	5店 (平成25年)
取組概要	<p>○中心市街地内の空き店舗への入居や新店舗の建築などに要する設備資金の一部について、区域外に出店する場合に比べ利子補給率を0.5%上乘せし、最大2.0%の利子補給付きで融資あっせんを行った。</p> <p>○空き店舗への出店に係る経費(改装費、宣伝広告費、設備リース料、謝金等)の一部を補助したほか、大型商業施設内の空きテナントへの出店に対し、テナント賃借料の一部を補助した。</p> <p>○中通一丁目地区において整備された「エリアなかいち」のオープンによる中心市街地の通行量の増加との相乗効果が得られた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;地元アーティストグッズ 専門店(空き店舗入居例)&gt;</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;中小路カフェ(空き店舗入居例)&gt;</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;エリアなかいち&gt;</p> </div> </div>				

市町村名	柏市(千葉県)【平成26年3月28日認定】		人口(平成27年国勢調査)	413,954人	
計画期間	平成26年4月 ~ 平成31年3月				
目標指標	休日歩行者通行量				
基準値	77,162人／年 (平成24年)	目標値	85,200人／年 (平成30年)	実績値	95,300人／年 (平成30年)
取組概要	<p>○柏駅東口D街区第一地区第一種市街地再開発事業では、駅前に商業業務、文化交流の拠点となる複合施設を整備した。当該施設には、多数の市民や来街者が来館し、幅広い世代の交流の場としてにぎわいづくりの拠点的機能を果たしている。</p> <p>○柏市文化交流複合施設設置事業では、駅前に整備した複合施設を活用し、市民活動センター及び、市民ギャラリー等の5つの施設から構成された文化・交流施設を整備した。団体が集う場ができたことで、環境フェスタや福祉フェスタ等のイベントに他の市民団体が参加するようになるなど、新たな利用者層の開拓や来館者同士の交流が促進されている。</p> <p>○このような施設整備と併せ、中心市街地活性化ソフト事業では、平成28年に設立したまちづくりセンター「柏アーバンデザインセンター(UDC2)」をプラットフォームとして、柏駅周辺のにぎわいや活気の創出に資する活動に対し費用を助成する制度を導入した。また、平成30年度は中心市街地におけるアートイベント、地元学生による企画提案事業、ハロウィンパレードや音楽イベント等9つの事業を対象に事業費の一部を支援した。こうした居心地をよくするプレイスメイキングの推進により、街の魅力が高まり中心市街地への来街者の増加につながった。</p>				
					
	<p>&lt; 柏市文化交流複合施設設置事業 &gt;</p>		<p>&lt; 中心市街地活性化ソフト事業 &gt;</p>		

市町村名	長岡市(新潟県)【平成20年11月11日認定】		人口(平成27年国勢調査)	275,246人	
計画期間	平成20年11月～平成26年3月				
目標指標	まちなか交流拠点(シティホール)施設利用者数				
基準値	325,000人/年 (平成18年)	目標値	780,000人/年 (平成25年)	実績値	1,223,589人/年 (平成25年)
取組概要	<p>○中心市街地は、都市機能の更新と再集積、さらには、市役所機能のまちなか回帰などにより、市民が憩い集う「居場所」となっており、広域市民の「文化・情報・交流の場」へと質的な転換を図った</p> <p>○平成24年4月に開業した「シティホールプラザ アオーレ長岡」は従来の公共施設利用の概念を超え、大規模イベントから一般のスポーツ利用などにも利用できるアリーナや、中規模のイベントやサークル活動などを行うことに適した市民交流ホールA、ナカドマ(屋根付き広場)等が整備されている。</p> <p>○市民ニーズに対応した運用が可能となったことより、利用者は初年度の平成24年度1年間で約128万人と見込みを大幅に超え市民から好評を博し、今後も中心市街地全体の公共公益施設の連携を強化しながら、まちなかで活動する人のさらなる増加となるよう中心市街地の活性化を図っていく。</p>				
					
	<p>&lt;うんめい酒にアオーレ&gt;</p>		<p>&lt;まちなか七夕まつりビアフェスタ&gt;</p>		

市町村名	富山市(富山県)【平成24年3月29日認定】		人口(平成27年国勢調査)		418,686人
計画期間	平成24年4月 ~ 平成29年3月				
目標指標	路面電車市内線一日平均乗車人数				
基準値	11,022人 (平成22年)	目標値	13,000人 (平成28年)	実績値	13,889人 (平成28年)
取組概要	<p>○路面電車が新幹線高架下に乗入れを開始したことで、新幹線及び在来線との乗換利便性が大幅に向上し、利用者の増加に繋がった。</p> <p>○ガラス美術館や図書館本館等からなる「TOYAMAキラリ」を路面電車沿線に整備したことにより、市民が気軽に集い憩える施設として利用され、路面電車の利用者増加に繋がった。</p> <p>○中心市街地までの公共交通運賃を100円とする「おでかけ定期券事業」(65歳以上対象)の実施により、高齢者の公共交通機関の利用促進と外出促進を図り、中心市街地への来街者の増加に繋がった。</p>				
					
	<p>&lt;富山駅路面電車南北接続事業&gt;</p>		<p>&lt;おでかけ定期券&gt;</p>		

市町村名	金沢市(石川県)【平成24年3月29日認定】		人口(平成27年国勢調査)		465,810人
計画期間	平成24年4月 ~ 平成29年3月				
目標指標	中心市街地の人口の年間社会動態				
基準値	26人 (平成19年~22年平均値)	目標値	35人 (平成24年~28年平均値)	実績値	102人 (平成24年~28年平均値)
取組概要	<p>○戸建て住宅・共同住宅の購入等に助成する「まちなか定住促進事業」の充実により、住宅着工のインセンティブとなったほか、金沢駅武蔵北地区第一種市街地再開発事業(第三工区)により住宅、商業施設の整備とシンボルロード等の主要公共施設を一体的に整備するなど、中心市街地の活性化が総合的に図られたことにより、目標値を上回る社会動態の増を達成した。</p> <p>○社会増減はプラスだが、自然増減を含めるとマイナスの推移を見せているため、今後も区域外からの定住増(特に若年層)を図っていくため、多様な都市機能を集積させ、まちなか居住のメリットを高めるとともに、住宅供給や公益施設の充実を図っていく。</p>				
					
	<p>&lt;金沢駅武蔵北地区第一種市街地再開発事業(第三工区)&gt;</p>		<p>&lt;片町A地区第一種市街地再開発事業&gt;</p>		

市町村名	福井市(福井県)【平成25年3月29日認定】		人口(平成27年国勢調査)	265,904人	
計画期間	平成25年4月 ~ 平成30年3月				
目標指標	公共交通機関乗車数(一日平均)				
基準値	16,378人/日 (平成23年)	目標値	17,150人/日 (平成29年)	実績値	18,021人/日 (平成29年)
取組概要	<p>○「福井駅周辺土地区画整理事業」による福井駅西口広場のバス乗降場の整備(平成28年3月)や、「福井鉄道軌道・電停等整備事業」により福井鉄道駅前線を延伸(平成28年3月)したことで、バスと電車の乗換えが容易になるなど、中心部の交通結節点の利便性が向上した。</p> <p>○さらに、「福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業」をはじめとする福井駅西口再開発事業により、複合施設であるハピリンがオープン(平成28年4月)したことで、福井駅周辺が多くの人々で賑わい、公共交通機関乗車数の増加が図られた。</p> <p>○ハピリン横の屋根付き広場 ハピテラスでは、毎週末、多彩なイベントが開催されており、賑わいの創出や公共交通機関乗車数の増加に寄与している。</p> <p>○「福井駅周辺土地区画整理事業」については、平成30年度をもって完了する予定である。今後も関係機関と協議・調整を行い、事業完了を目指す。</p>				
					
	<p>&lt;福井駅西口再開発事業によりオープンした複合施設「ハピリン」&gt;</p>		<p>&lt;「福井駅周辺土地区画整理事業」により完成したバスターミナル&gt;</p>		

市町村名	長野市(長野県)【平成24年3月29日認定】		人口(平成27年国勢調査)		377,598人
計画期間	平成24年4月 ~ 平成29年3月				
目標指標	空き店舗数(中央通り及び権堂アーケード沿いの1階部分)				
基準値	29件 (平成23年)	目標値	22件 (平成28年)	実績値	21件 (平成28年)
取組概要	<p>○中心市街地の1階部分の空き店舗等を活用して出店する事業者に対して、その空き店舗等の改修費等の一部を補助する「空き店舗等活用事業」を実施している。</p> <p>○事業者のニーズ等に応じ、補助対象物件に空き住宅、空き倉庫等を加えるとともに、一定のエリアにおいては補助限度額を引き上げるなど、より効果的な事業となるよう補助制度を見直しながら、当事業に取り組んだ。</p> <p>○当事業を契機として地元の商工団体、商店街団体等との関わりが生まれるなどの効果がある。今後も引き続き、空き店舗等の解消に向けた取組を実施していく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="410 922 1036 1339" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1255 929 1893 1336" data-label="Image"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="416 1358 1052 1396" data-label="Caption"> <p>&lt;当事業を活用して出店したフラワーショップ&gt;</p> </div> <div data-bbox="1301 1358 1864 1396" data-label="Caption"> <p>&lt;当事業を活用して出店したレストラン&gt;</p> </div> </div>				

市町村名	岐阜市(岐阜県)【平成24年9月30日認定】		人口(平成27年国勢調査)	406,735人	
計画期間	平成24年10月 ~ 平成30年3月				
目標指標	新規出店店舗数(柳ヶ瀬地区)				
基準値	8.8店舗 (H19~H23の年平均) (平成23年度)	目標値	11店舗 (H24~H29の年平均) (平成29年度)	実績値	12.7店舗 (H24~H29の年平均) (平成29年度)
取組概要	<p>○「空き店舗対策事業」では、店舗賃借料等の一部を助成、「中心商店街活性化プロデュース事業」では、空き店舗ツアーや専門家による出店希望者相談会を実施したことで、空き店舗への出店に意欲ある事業者を集積することが可能となり、市外からの出店者も含めた新規出店店舗数の増加につながった。</p> <p>○「サンデービルディングマーケット」については、柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社(まちづくり会社)と岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会(商店街)が中心となり、手仕事(クラフト)の商品等を扱う店舗を集めたイベントを定期的で開催し、新たな若い層を中心とした固定顧客と実店舗に出店する可能性のある事業者を創出することに取り組んだ。さらに、これらの事業者のための、週末限定の短期出店スペース「ウィークエンドビルディングストアーズ」を、市が支援して商店街が平成27年11月に整備し、実施したことで、遊休化した大型ビルのリノベーションによる活用につながった。</p> <p>○また、大型ビルの遊休化していた区画を若い世代向けのコンテンツ(店舗、サービス、担い手など)が集積する店舗等へリノベーションする事業として、まちづくり会社の実施主体となる「遊休不動産のリノベーション活用事業(ロイヤル40)」を平成28年度から実施したことで、11区画に新たな出店が生まれた。その結果、若い世代が来街するようになったことで、まちの雰囲気の変化を肌で感じ、客足が増えたとの声が聞かれている。</p> <p>○今後は上記事業を更に加速させ、エリアの空間需要を喚起し、新規出店・事業などの投資が起こる持続可能なまちを目指していく。</p>				
					
	<サンデービルディングマーケット>		<ウィークエンドビルディングストアーズ>		<遊休不動産のリノベーション活用事業> (ロイヤル40)

市町村名	豊田市(愛知県)【平成25年3月29日認定】		人口(平成27年国勢調査)		422,542人
計画期間	平成25年4月 ~ 平成30年3月				
目標指標	居住人口				
基準値	12,715人 (平成23年)	目標値	13,140人 (平成29年)	実績値	13,398人 (平成29年)
取組概要	<p>○駅周辺再開発の一環である、豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業における商業施設・アミューズメント施設・高齢者福祉施設及び居住棟が一体となった再開発ビル「KITARA」が平成29年11月にオープンするなど事業が順調に進み、目標指標を上回る結果につながった。</p> <p>○この再開発事業の完了により、昭和60年から進められてきた豊田市駅周辺の再開発構想が完成し、市街地の整備改善・都市機能集約が図られたことや、歩行者専用道路の一部を広場化し、日常的な休憩・飲食スペースの設置、イベント等での利用を可能とする取組み(あそべるとよたプロジェクト)など、官民連携による公共的空間の積極的な活用によってエリアの魅力が向上したことも、まちなかへの居住の増加に寄与している。</p> <p>○今後は、大規模な居住施設等の整備計画はないが、エリアの価値をさらに向上させるために、継続的に官民が連携して賑わいや楽しみを発信し、魅力的なまちなかを形成することで、居住者の増加を図っていく。</p>				
					
	<p>&lt;豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業&gt;</p>		<p>&lt;駅前のペDESTリアンデッキ広場を活用した民間事業者によるオープンカフェの出店&gt;</p>		

市町村名	豊橋市(愛知県)【平成26年3月28日認定】		人口(平成27年国勢調査)		374,765人
計画期間	平成26年4月 ~ 平成31年3月				
目標指標	空き店舗数				
基準値	107店 (平成24年)	目標値	90店 (平成30年)	実績値	78店 (平成30年)
取組概要	<p>○中心市街地活性化ソフト事業を活用した商店街空き店舗対策事業により、情報提供など出店意欲のある事業者を支援し、商店街の魅力低下を防ぐため、空き店舗ツアーにより出店希望者を発掘したり、必要な業種・業態やコミュニティ施設を空き店舗に誘導したりするなど、バランスのとれた魅力ある商店街の再構築を図るとともに、「まちなかインキュベーション&amp;チャレンジング事業」では、まちなかにおいて新規開業を目指す事業者の育成や、短期間のチャレンジ出店に対する補助金交付を行った。</p> <p>○平成28年度には、上記2事業を統合し窓口を一本化することにより、事業者にとって補助制度の活用方法がわかりやすくなり、申請しやすくなったことから、目標を大きく上回る活用実績となり、中心市街地における空き店舗の解消に寄与した。</p> <p>○今後は、空き家・空き店舗ツアーの実施や豊橋まちなか活性化センターとの情報交換により、事業者への速やかな対応をとり、引き続き空き店舗の解消を目指していく。</p>				
					
	<p>&lt;商店街空き店舗対策事業&gt;</p>		<p>&lt;商店街空き店舗対策事業&gt;</p>		

市町村名	倉敷市(岡山県)【平成22年3月23日認定】		人口(平成27年国勢調査)		477,435人
計画期間	平成22年3月 ~ 平成27年3月				
目標指標	歩行者・自転車通行量(休日)の増加				
基準値	72,452人／日 (平成21年)	目標値	74,000人／日 (平成26年)	実績値	96,263人／日 (平成26年)
取組概要	<p>○JR倉敷駅北では倉敷市が「潤いと憩いの空間」として倉敷みらい公園を、民間企業が「賑わい創出空間」として大規模複合型商業施設を整備。同駅南では倉敷美観地区において電線類地中化等により町並み景観の向上を図るとともに、倉敷らしい町家・古民家再生による新魅力集客拠点「林源十郎商店、奈良萬の小路、クラシキ庭苑、くらしき宵待ちガーデン」などが開業したこと等により、実績値が目標値を大幅に上回った。</p> <p>○目標達成のために計画した事業は概ね予定どおり完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えた。</p> <p>○今後は更なる賑わい創出を図るとともに、安定的に現況以上の水準を維持することを目指す。</p>				
					
	<p>&lt;倉敷みらい公園と大規模複合型商業施設&gt;</p>			<p>&lt;くらしき宵待ちガーデン&gt;</p>	

市町村名	熊本市(熊本県)【平成24年3月29日認定】		人口(平成27年国勢調査)		740,822人
計画期間	平成24年4月 ~ 平成29年3月				
目標指標	中心市街地の商店街歩行者・自転車通行量				
基準値	277,017人 (平成22年)	目標値	310,000人 (平成28年)	実績値	333,023人 (平成28年)
取組概要	<p>○平成28年4月の熊本地震後、消費マインドの低下や来訪観光客の減少の中、中心商店街や(仮称)花畑広場でのイベントの開催、熊本駅周辺地区におけるまちづくりの取り組みなどにより、歩行者・自転車通行量は増加し、目標を達成した。</p> <p>○桜町・花畑周辺地区や熊本駅周辺地区の再整備については、防災面からの機能強化を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを進めている。また、中心市街地においては、優れた交通利便性やこれまでに集積した都市機能を活かし、企業立地の推進を図った。</p> <p>○計画終了後も中心市街地活性化に向けて、以上のような取組を推進するとともに、計画期間中に発現した効果が持続しているか検証するため、目標指標の測定を継続的に実施していく。</p>				
					
	<p>&lt;イベントでにぎわう(仮称)花畑広場&gt;</p>		<p>&lt;暮らし・にぎわい再生事業(熊本駅前東A地区)&gt;</p>		

市町村名	宮崎市(宮崎県)【平成19年5月28日認定】	人口(平成27年国勢調査)	401,156人		
計画期間	平成19年5月 ~ 平成25年3月				
目標指標	居住人口の増加(夜間人口)※中心市街地域での現住人口				
基準値	7,575人 (平成17年)	目標値	8,025人 (平成24年)	実績値	8,619人 (平成24年)
取組概要	<p>○中心市街地の文化・芸術の推進施設である「みやざきアートセンター」や宮崎駅西口拠点施設である「複合交通センター」の整備を行い、都市機能の充実を図った。</p> <p>○周辺道路の電線類地中化や段差解消、緑化事業などのハード整備により中心市街地の魅力向上が図られたほか、地域優良賃貸住宅制度を活用し、高齢者を対象とした民間賃貸住宅の整備費用の一部助成及び家賃助成を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;複合交通センター「KITENビル」&gt;</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;地域優良賃貸住宅「ふくふくマンション」&gt;</p> </div> </div>				